

✓ 受検率100%を目指すストレスチェックのためのチェックリスト

◎従業員に以下のことを伝えていますか？

1. ストレスチェックを受検する **メリット**

- 自分がどれだけストレスを抱えているのか、**気づくことができる。**
- ストレスの原因**を知り、対策を考えることができる。
- 職場ごとに結果がまとめられ、**職場環境を改善**するために使われる。
- ストレスを軽減するため、**産業医のサポート**を受けることもできる。
- 会社の協力が必要な時、産業医を通して **適切な情報を会社と共有**することもできる。

2. ストレスチェック結果の **情報は守られている**

- ストレスチェックの個人結果を **上司は見れないこととその理由。**
- 人事評価への影響はないこととその理由。**
- 産業医面談申し込み時に会社に共有される **情報を制限**できる。(企業による。)
- 産業医面談の内容は本人の **同意がない限り**企業に共有されることはない。

◎会社で以下のような環境を作っていますか？

- ストレスチェックについての情報を従業員に **スルーされないシステム**になっている。
- 回答の**リマインド**を適切な時に複数回流している。
- 産業医面談申し込み時に会社・上司に **開示する情報の範囲**を確認している。
- 産業医面談が **社内にバレない環境**を作っている。
- メンタル不調を相談できるような職場の **信頼関係**ができています。
- メンタルヘルス不調に **オープンな雰囲気**ができています。